

保健だより2月号

平成29年2月22日
鳥取西高等学校

この度は、33年ぶりの記録的な大雪ということで、本当に大変でしたね。臨時休校などで、しばらく休みがあったせいでしょうか。学校内で感染症の流行はおさまっているように感じられますが、引き続き、感染対策を続けていきたいところです。

こまめな換気でインフルエンザを予防しよう!

1月中旬に、学校薬剤師の大村匡由先生に来ていただき、教室内の空気検査を行いました。教室内の二酸化炭素濃度は、教室内の空気が清浄かどうかの目安となります。ちなみに、教室内の二酸化炭素濃度の基準値は0.15%以下です。検査をしたときはインフルエンザが流行し始めた頃で、換気に注意していたせいか、今回検査した教室はおおむね良好でした。

基準値内でした。授業開始30分以上で基準値内の数値であったことは、換気がしっかりできているということが分かります。なお、欄間を少しでも開放していただくと換気がスムーズに行えます。

同じときに、照度検査と騒音検査も実施していただきました。

- ▼照度検査：基準値以内です。もし、まぶしさを感じる場合は、カーテンで適宜対応をお願いします。
- ▼騒音検査：基準値以内でした。外部騒音も問題がありませんでした。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)も流行中

1月末から県内において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)が流行しています。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、発熱、咽頭痛などを主とする感染症で、小児に好発します。(高校生も抵抗力が落ちているとき等に罹る場合があります)
- 原因は、細菌性のA群溶血性レンサ球菌です。
- 発熱、咽頭熱などの症状があった場合は、早めに医療機関で受診しましょう。
- 手洗いを徹底しましょう。
- 症状がある場合は、マスクを付けるよう心がけましょう。

手洗い・マスク着用で、感染症を予防しよう